

企画セッション

◆ 大学 TLO 進化の潮流を追う ◆

【概要】

国内で大学 TLO（技術移転機関）の本格的な活動が始まってから四半世紀が経過した。TLO は大学の知的財産をマーケティングする最前線に位置する。この間、ライセンスの契約件数や収入は着実に成長してきたが、イノベーションエコシステムでの役割や期待は依然として大きい。

本企画では、これまでの実績や知見、人材育成の蓄積に加え、社会環境の変化を受けて、TLO の活動や組織が進化しているとの仮説を立てる。実務者からの先端的な技術移転活動に関する事例や論点の提供を受け、効果的な大学技術移転活動におけるキーポイントや実践課題を探る。

具体的な論点は以下を予定している。

- ◆ TLO のネットワーク化
- ◆ TLO 業務のデジタル化・効率化
- ◆ 人材育成と蓄積
- ◆ 体制や業務プロセスの見直し
- ◆ 大学発ベンチャーの支援・関与
- ◆ 生成 AI 時代の TLO 業務

【内容】

以下の講演者それぞれから技術移転活動や組織に関する事例や視座、課題について発表し、その後、全体でパネルディスカッションを行う。

【講演者】

大澤 住夫（おおさわ すみお）

長野日本無線株式会社（現日清紡グループ）において 20 年間製品開発等に従事。2003 年株式会社信州 TLO へ入社し、独立行政法人工業所有権情報・研修館（I N P I T）特許流通促進事業において、特許流通アドバイザーとして信州 TLO の技術移転活動を支援し、2014 年より代表取締役（現職）。信州大学の特任教授として知的財産部門の支援も行った。

企画セッション

◆ 大学 TLO 進化の潮流を追う ◆

【講演者】 (続き)

水田貴信 (みずた たかのぶ)

株式会社東北テクノアーチ代表取締役社長。(一財)大学技術移転協議会代表理事副会長。農学博士。RTTP (Registered Tech Transfer Professional)。東京大学大学院農学生命科学研究科で博士号取得後、ポスドクを経て、2008年に東北テクノアーチ技術移転マネージャーとして入社し、ライフサイエンス系大学発シーズを中心に国内外企業への技術移転を主業務としつつ、知財の権利化支援業務にも従事。技術移転による製品化事例実績も多数。2014年6月から現職。

橋本和彦 (はしもと かずひこ)

九州大学 オープンイノベーションプラットフォーム 研究推進主幹。
診断薬メーカーを経て、2010年に現在の株式会社TLO京都(当時は関西ティー・エル・オー株式会社)に入社。複数の大学にて、ライセンス業務や知的財産マネジメント業務など様々な技術移転業務に従事。広域事業部門において、地域の大学や企業をつなげ、地域産業の発展のため、ハブとしての産学連携業務を推進。2023年4月より九州大学オープンイノベーションプラットフォームに着任。

太田雄介 (おおた ゆうすけ)

テックマネッジ株式会社 シニアマネージャー。大阪大学理学研究科修士課程修了、家具・インテリア販売会社を経て、2014年よりテックマネッジに参画し、大学で得られた研究成果の活用に関し、国内外よりパートナー候補企業の探索、技術概要紹介、ライセンス条件交渉、契約締結の支援等の技術移転業務を担当。

【モデレーター略歴】

伊藤 伸 (いとう しん)

東京大学未来ビジョン研究センター特任准教授。日本経済新聞記者を経て、2001年農工大ティー・エル・オー株式会社設立とともに代表取締役社長(現在はシニアアドバイザー)。2002年~2022年大学技術移転協議会理事。2009年東京農工大学産官学連携・知的財産センター教授、2013年同大学大学院工学府産業技術専攻教授。2022年4月より現職。東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻修了、博士(学術)。

以上